

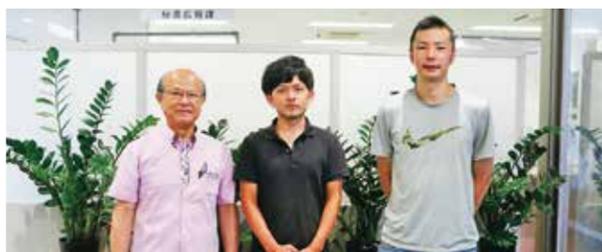
6/19 青少年の健全育成に多大な貢献 天願フェニックス `模範活動団体、受賞



スポーツ少年団 天願フェニックス(天願小・少年野球)が、県青少年育成県民会議から地域や学校での青少年の健全育成に貢献したことが評価され、模範活動団体として表彰されました。

報告を受けた島袋市長は「チーム設立50年の節目に優れた実践活動が認められたことは大変素晴らしいこと」と述べ、受賞をともに喜びました。

7/1 島しょ地域の魅力を再発見 地域おこし協力隊に2名



うるま市は、令和2年7月1日より山本太郎さん(写真中央:兵庫県出身)と山口慧さん(写真右:東京都出身)の2名を地域おこし協力隊として任用しました。

島しょ地域を中心に、空き家の掘り起こしや利活用、関係人口の創出等、しまの活性化に向けた取り組みを行ってまいります。

※2週間の自粛期間を経て、活動を開始しています。

7/8 地域が主役のまちづくり 地域活動支援助成事業に5団体



地域の特徴を活かし、その魅力を高め、地域活動の支援を行う『地域活動支援助成事業』に5団体が選定され、その交付決定式が行われました。

島袋市長は「うるま市は市民協働のまちづくりとして地域の活動を支援していきます。明るく元気なまちづくりにご尽力を賜りますようお願いいたします。」と激励しました。

6/30 悲劇を忘れない。変わらぬ平和への思い 宮森小ジェット機墜落事故 平和集会



宮森小学校の校舎にアメリカ空軍のジェット機が衝突・炎上した戦後最大の米軍機事故から61年。宮森小学校では、犠牲者を追悼する慰霊祭が行われました。

児童会主催の慰霊祭では、犠牲者の名前が刻まれた仲よし地蔵へ花束と千羽鶴を奉納し、犠牲者の冥福を祈りました。

6/22 戦争体験者の話に耳を傾けて 彩橋小学校で平和学習



6月22日、慰霊の日を前に沖縄戦を考える平和学習が彩橋小学校で行われ、4年生と6年生の児童が参加しました。

児童らは、沖縄戦に関する詩を題材に戦争を考え、戦争を体験した奥多良正光さんから話を聞き、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて学びました。

6/29 豚熱の被害拡大防止に感謝 特定家畜伝染病防疫に係る感謝状贈呈式



1月にうるま市で豚熱(豚コレラ)が発生した際、沖縄県、うるま市と協力し被害拡大防止のための防疫措置に尽力したとして、陸上自衛隊第15旅団、うるま市建設業連合会、株式会社ミリオンの3団体に対し、島袋市長より感謝状が手渡されました。

忘れてはいけない歴史 戦跡が伝える 沖縄戦

私たちの住むうるま市には、沖縄戦を物語る「遺跡」が数多く残されており、悲惨な戦争の歴史を次の時代へ引き継ぐ `記憶、として大切に保存されています。



具志川の戦争遺跡 護岸の銃座

川田集落から前原集落の中城湾に面した護岸に多数の銃座(ライフルピット)が構築されています。この銃座は1944(昭和19)年頃に旧日本軍によって構築されたものだといわれています。

沖縄戦では、米軍が西海岸から上陸したため、結局この銃座からは一発の弾丸も撃たれませんでした。護岸の銃座は、約115基確認されていますが、護岸改修工事に伴い記録保存のための調査が行われています。

与那城の戦争遺跡 与那城監視哨跡

与那城監視哨は、航空機を早期に発見し敵味方を区別して防空機関に知らせるための施設で、当時は与那城警防団を中心に監視の任務にあたっていました。監視哨内には、電話機、双眼鏡、時計、方位板、航空機器識別飛行機の模型、羅針盤などの備品が国の負担で配置されていました。

壁面には銃撃を受けたときの弾痕が今でも残っています。



石川の戦争遺跡 ナチシヌジガマ

ヌチシヌジガマは、メヌティラ、ナカヌティラ、クシヌティラと言われる3つの壕口があり、ガマの中では1つにつながっており、全長約200mあります。沖縄戦当時、メヌティラには嘉手苅の住民160人余り、ナカヌティラとクシヌティラには伊波の住民が避難し、多くの住民が救われた「命をしのいだガマ」として知られています。

勝連の戦争遺跡 ワイトウイの壕

比殿農道は通称ワイトウイ(掘割)と呼ばれ、昭和7年(1932)から10年にかけて、住民の労力によって開通したと伝えられています。その長さは150m、高さ最大約20m。沖縄戦当時、通路の壁面には多くの壕が掘り込まれ、一帯の山林を含め平安名住民の避難場所となりました。現在、壁面には7個ほどの壕が確認できます。



令和2年度 平和資料展 戦後復興75年目のうるま市 うるま市の戦争遺跡と収容所から誕生した市

戦後75年たった現在もうるま市に残る『戦争遺跡』や『民間収容所』から誕生した「石川市」「前原市」「平安座市」にスポットをあて、うるま市がどのような戦後を辿ったのかを、写真や文献資料などで紹介します。

場所 石川歴史民俗資料館 ※休館日 毎週月曜日および、公休日の翌日
期間 6月2日(火)～8月30日(日) 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)